

選挙公報

午後8時まで投票できます

横浜市選挙管理委員会

【福祉革命】

介護を成長戦略へ

経済福祉	地域包括ケアシステム 西区モデルの創設 (24時間365日 医療介護サービスを自宅で受けられます)
景気対策	規制改革による民間活力の活用
行政改革	横浜特別自治市制度ステップアップによる 地域主権改革
経済福祉	介護・福祉従事者の待遇改善 人材確保の推進
教育	国際都市横浜にふさわしい、 使える本物の英語教育の推進

「国でも」

維新の党は、政治とカネの問題に積極的に取り組んでいます！

維新の党所属横浜市議の取り組み

- ポナスを50%自主的にカットしました
- 開国博Y150の赤字25億円の責任を取るため、横浜市議のポナスカット案を提出しました。条例案は議会でも否決されたものの、自主的にポナスを50%カットしています
- 議員給与と公務員給与削減案を提出しました
- 市債発行に頼らず震災対策費を捻出するため、報酬カット、給与削減の条例案を提出しました。他党の反対多数により、否決されました
- 費用弁償(通勤費用)の受取拒否を継続中
- 実費では無く距離による一律支給である費用弁償(通勤費用)は一般企業ではあり得ない非常識な支給です。これまで約117万円のムダな支給について受取を拒否しました
- 企業団体献金の廃止を決定しました
- 維新の党では、所属議員が企業・団体からの献金を受けると全面的に禁止しました。また、2月7日には、企業団体献金の廃止を明らかにした政治資金規正法改正案を国会に提出しました
- 文書通信交通費の滞在費の公開
- 市債発行に頼らず震災対策費を捻出するため、報酬カット、給与削減の条例案を提出しましたが、他党の反対多数により、否決されました

プロフィール：昭和37年生まれ。元・舞台俳優・シンガーソングライター。障がい福祉・介護職員を8年間務める傍ら、行政改革のあり方などを一新案にて学ぶほか、青葉区民会議に参加。 <http://tsujikenji.net/>

日本共産党の市会議席を増やして

暮らしの願い実現 安倍暴走ストップ

労働運動40年の経験を生かし 皆さんの要求実現に全力をあげます

ごあいさつ

私は、まず中学給食の実現に全力を尽くします。党市議員が行ったアンケートにも青森県から引越してきた方から「横浜に中学給食がないと知り驚いた」の声が寄せられました。全国の公立中学の88%で実施しているというのに。また、子どもの医療費無料化は海老名市、厚木市並みに中学3年までの実現に粘り強く頑張ります。憲法と同一年の私は、安倍政権の「戦争をする国づくりへの道」阻止に人生をかけて市民とともに頑張っています。

中学給食を実現します
中学三年まで医療費を無料にします
災害時の防災対策を強化します
侵略戦争を反省し、現憲法を尊重する中学校教科書を変更します
フラック企業をなくす
取り組みをします
地域にミニバスを走らせます
東久保町、元久保町、境之谷の公園の設置など
財源は予算の使い方を改めれば確保出来ます
新市庁舎や高速道路建設など不要不急の大型公共事業の浪費を止めれば市民の暮らしの向上に振り向ける事ができます

プロフィール
 1947年横浜市中区生まれ。日大高校卒業。数社を経て佐藤印刷所(戸部1丁目)に勤務。この間、労組を結成し委員長に就任。全印総連神奈川地方連合会委員長、横浜地区労務幹部、岡津高校PTA会長を歴任。現在、党西区委員長。趣味は野球、横浜ベイスターズファン、家庭菜園(妻の助手)

暮らしのなかに身近な市政を!!

愛する西区のために働きます

自由民主党

しみず 富雄 とみお 五十九才

◆清水富雄 略歴◆
 昭和30年 西区西戸部町生まれ
 光源寺保育園
 市立一本松小学校卒
 市立老松中学校卒
 県立横浜平沼高等学校卒
 日本郵船株式会社
 MMC三本コービー(株)
 横浜市議員
 すが義偉秘書
 横浜市議員(現五期)
 自民党横浜市連 財務委員長

自信を持って推薦します
 菅 義偉
 斉藤 達也
 加藤 元弥
 黒岩 祐治

改革
 ●電子市役所・区役所の推進により行政コストの削減を図るとともに、くらしの中に身近な、よりよい市民サービスの実現に努めます。
 ●民間に出来る事は民間にまかせる、具体的な行政改革を推進します。

環境
 ●自然との共存・環境重視の街づくりを進めます。
 ●地球にやさしい循環型社会を実現します。

地域
 ●地域商店街の特色に合わせた、活性化政策を実現します。
 ●中小企業や新しいビジネス創出を全面的に応援します。
 ●J・R桜木町駅再整備に向け全力投じます。

安心
 ●地震や水害、さまざまな調査データを集積し、災害に強い街づくりを推進します。
 ●地域医療を充実し、ガン対策に取り組みます。

福祉
 ●高齢者の健康を最優先。元気な西区をめざします。
 ●NPO・ボランティア活動と連携し、いきいき地域福祉社会の充実を図ります。
 ●おでかけサポート!!さらにハリアフリー化に努めます。

子ども
 ●産科・小児科助産士を充実!!子育て環境を改善します。
 ●多様なニーズに対応した保育サービス。
 ●いじめや、不登校の根絶に全力で取り組みます。

福祉・子育て・雇用

暮らしにあたたかい市政はじめます!

地域をくまなく歩き、話を聞き、現場を見て課題解決に取り組みます!

子育て支援
 ●未来を担う子どもたちを安心して産み育てられるための
 ●保育の内容や病児・病後児保育を質の向上。
 ●学童保育などの質と量の充実や、バラつきのある保護者負担額の是正。
 ●中学校のデリバリー方式・昼食のみみや導入。
 ●格差をなくし、就労支援強化で
 ●誰もが公平に、安心して働ける横浜企業を目指します。
 ●企業誘致や就労支援強化で、雇用の創出を進めるとともに、非正規社員の正規社員化、フラック企業対策を強化。

雇用の創出
 ●格差をなくし、就労支援強化で
 ●誰もが公平に、安心して働ける横浜企業を目指します。
 ●企業誘致や就労支援強化で、雇用の創出を進めるとともに、非正規社員の正規社員化、フラック企業対策を強化。

暮らしにあたたかい安心・安全な町づくり。
 ●西区は坂道や階段、狭い道路が多い地域ですが、日常的に不便だけでなく、災害時の避難経路や防災面で、不安が残ります。生活道路の整備を進めるとともに、コミュニティバスの運行等、交通手段の多様化を図ります。

プロフィール
 1969年3月9日生まれ。藤沢市出身。
 大阪芸術大学専攻科を卒業後、カメラマンを経てギャラリディレクターとして昭和や自然をテーマにした写真展企画を多数手がける。
 2009年から2012年まで、民主党衆議院議員の公設秘書として西区を担当。
 趣味、将棋、健康センター巡り、カラオケ、高校時代にかじおあきら(検索)はハンドボール、大学時代は人形劇サークルに所属。 <http://kajio.info>

長生きしたくなる街へ!

誰もが夢を描いて明日に希望をもち、働くことの喜びを感じられ、長生きしたくなる街「横浜」

「2025年問題」
 ●本市の高齢者人口は、10年後に100万人に達すると予想され、加えて要介護認定者約20万人・認知症高齢者約10万人との推計が発表されています。
 ●このような将来の課題に備える為にも、財政強化が急務であり、官民一体となった施設整備・人材育成等に取り組めます。

「公教育の在り方」
 ●市民の価値観やライフスタイルが多様化してきた現代において課題が山積しています。私たち子育て世代が、教育というものを改めて考えていく必要があるのです。
 ●第一義的に「学びの場」であることを再確認し時代に沿った新しい形を創造します。

「働くことの喜び」
 ●こんな時代だからこそ、仕事に就いて働くことの意義を、私たち働き盛り世代が次世代へ伝えていかなければならないと考えています。
 ●同時に、女性・高齢者・若者等、性別や年代の別なく、それぞれ活気や個性を横浜の推進力へと変えられるような新しい仕組みを構築します。

政治に無関心でも無関係では生きられない!

自民党

うえの 上野 もりお

統一地方選挙 (市会・知事)

投票日 4月12日(日) 午前7時～午後8時

※県会は無投票となりました。

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。